

決算額減少の主な原因は、町の貯金である基金への積立額の減少や平成20年度に実施された国の緊急経済対策による定額給付金の減、町の公共事業（普通建設事業）であるまちづくり交付金を活用し、洞爺湖温泉地区で進めてきた、魅力ある観光地づくり整備事業や洞爺地区で実施してきた、美沢団地5号棟整備事業の事業終了による減などであります。

地方交付税は、1億4,743万8千円の増（前年度比4.6%の増）

市町村に生じる財政力の格差を調整するために国から交付されるのが地方交付税です。普通交付税は、平成21年度に新たな算定項目として「地域雇用創出推進費」が加わったことや公債費（借金の返済）の増加により大幅な増額となり、特別交付税においては、合併後3カ年措置されてきた合併に係る包括的算定経費が平成20年度で終了したことにより大幅な減となりました。

皆さんが納められた町税は、国からの税源移譲により平成19年度には増額となりましたが、平成21年度決算では景気の低迷などにより減少しています。

かし、歳入に占める町税の割合は15.5%を占めており、いろいろな事業を実施するための貴重な財源となっています。

町税をはじめ独自に確保できる自主財源は、町全体の収入の25.7%となっており、国や道などへの依存度が高くなっています。

町債の借金の残高は12億4,794万1千円の減（前年度比8.1%の減）

平成21年度の決算では町債の発行額は4億2,389万円で、前年度に比べ2億7,097万9千円減少しました。これに対し、町債の償還額（利子を含む）は19億2,621万3千円で、町債残高は20年度末の153億9,255万3千円から、21年度末には12億4,794万1千円減の14億1,461万2千円となりました。

一方、町債の償還額は平成21年度でピークを迎えるものの償還額は依然多額で推移することから、今後も引き続き新たな借入を抑制していきます。

なお、町債の残高を町民一人当たり換算すると、約138万円になります。（平成22年9月末住民基本台帳人口：10,248人）

特別会計

(単位:千円、%)

区分	予算現額	歳入		歳出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	1,549,589	1,489,493	96.1	1,478,857	95.4
公共下水道事業特別会計	1,582,517	1,481,719	93.6	1,573,309	99.4
老人保健特別会計	10,715	10,485	97.9	10,220	95.4
介護保険特別会計	767,518	744,917	97.1	735,015	95.8
簡易水道事業特別会計	186,698	187,245	100.3	185,035	99.1
後期高齢者医療特別会計	131,974	130,563	98.9	126,283	95.7

< 介護保険特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）7億4,491万7千円から使った金額（歳出）7億3,501万5千円を差引いた額は、990万2千円（実質収支）となり、平成22年度に繰り越しました。

< 簡易水道事業特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）1億8,724万5千円から使った金額（歳出）1億8,503万5千円を差引いた額は、22万円（実質収支）となり、平成22年度に繰り越しました。



< 国民健康保険特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）14億8,949万3千円から使った金額（歳出）14億7,885万7千円を差引いた額は、1,063万6千円（実質収支）となり、平成22年度に繰り越しました。

< 公共下水道事業特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）14億8,171万9千円から使った金額（歳出）15億7,330万9千円を差引いた歳入不足額は、9,159万円（実質収支）となり、この歳入不足額は翌年度繰上充用金で補てんしました。

< 老人保健特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）1,048万5千円から使った金額（歳出）1,022万円を差引いた額は、26万5千円（実質収支）となり、平成22年度に繰り越しました。

< 後期高齢者医療特別会計 >

平成21年度の1年間に、町に入った金額（歳入）1億3,056万3千円から使った金額（歳出）1億2,628万3千円を差引いた額は、428万円（実質収支）となり、平成22年度に繰り越しました。

水道事業会計

(単位:千円、%)

区分	予算現額	決算額		執行率
		収入	支出	
収益的収支	256,379	257,499	100.4	
		256,379	230,734	90.0
資本的収支	93,610	93,610	100.0	
		190,166	190,165	100.0

(予算現額及び決算額については、消費税込みの金額です。)

収益的収支については、収入が2億5,749万9千円、支出が2億3,073万4千円で、当期純利益が3,019万9千円となりました。また、平成21年度末の未処理欠損金は1億2,023万9千円となっています。

資本的収支については、収入が9,361万円、支出が1億9,016万5千円となり、不足額9,655万5千円は当年度分損益勘定留保資金と過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。